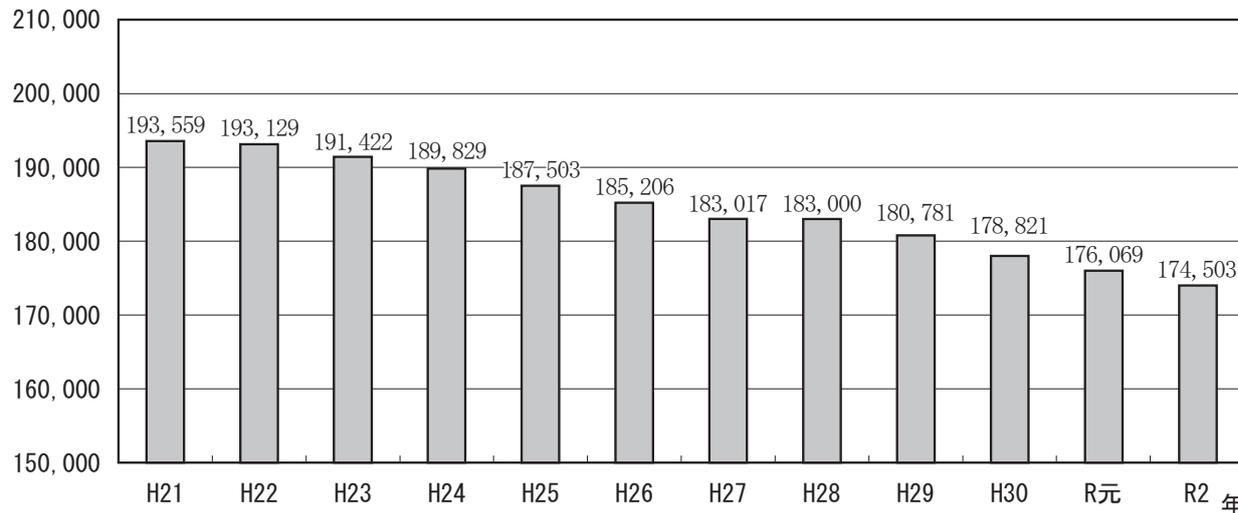


Ⅲ 学校教育

1 児童生徒数の推移

(1) 人口の推移

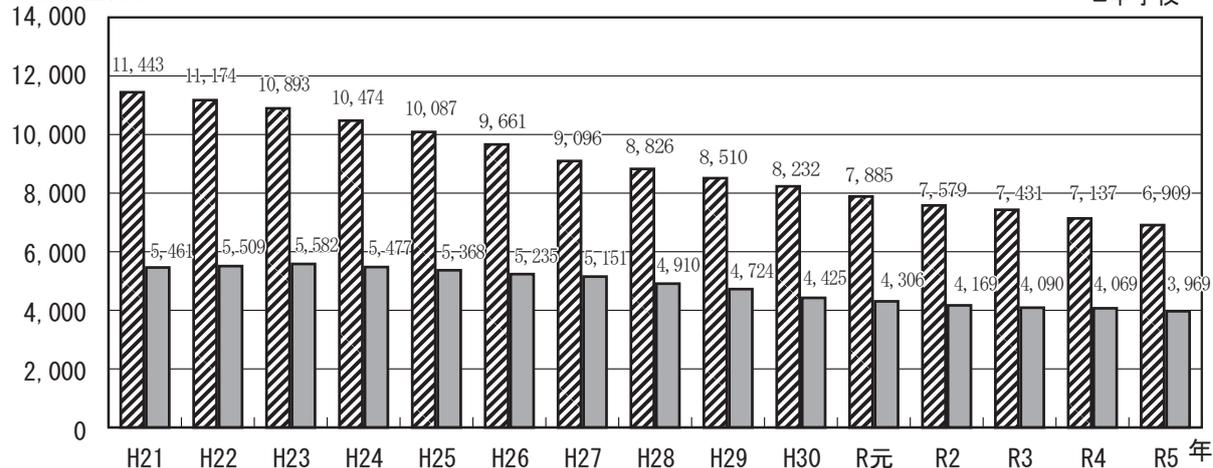
人口(人)



(各年10月1日現在の常住人口による〔令和2年のみ5月1日現在〕)

(2) 児童生徒数の推移と推計

児童・生徒数(人)



(各年5月1日現在)

(3) 今後4か年就学児推計

(単位：人)

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,171	1,091	1,037	959

(令和2年4月1日現在)

2 学校等設置状況

(1) 幼稚園、認定こども園、小・中学校及び特別支援学校

令和2年5月1日現在（単位：人・㎡）

種別	区分 校名	所在地	開設年月日	児童生徒数		学級数 普通	特別 支援	教職員数	校地面積(㎡)		建築物面積(㎡)					保有教室数					
				男	女				計	敷地面積	左のうち 運動場 面積	鉄筋	鉄骨	木造	校舎	屋内 運動場	普通 (保育室)	特別 (遊戯室)			
								職員数	市職員数												
幼稚園	中小路	平和町2-4-1	S28.4.1	9	2	11	2	—	7(3)	2,782	2,143	581	321	20	922	[S52.1][S53.8][H9.10]	—	2	1	無	
	会瀬	会瀬町2-17-10	S53.4.1	—	—	—	—	—	—	会瀬小学校敷地内	482	0	0	0	482	[H24.3]	—	1	1	〃	
	高鈴	高鈴町3-2-4	S48.4.1	—	—	—	—	—	—	2,784	1,363	0	479	20	499	[S48.3]	—	2	1	〃	
	滑川	滑川本町4-11-15	S44.4.1	2	9	11	2	—	3(1)	2,795	1,398	0	597	0	597	[S42.3][S44.1][S45.9][S48.3]	—	2	1	〃	
	金沢	金沢町5-12-1	S51.4.1	6	2	8	1	—	3(1)	2,657	1,327	0	482	10	492	[S51.2]	—	2	1	〃	
認定こども園	大沼	東金沢町5-6-6	S50.4.1	12	15	27	2	—	6(4)	3,583	2,420	755	0	10	765	[S50.1]	—	3	1	〃	
	水木	水木町2-43-31	S43.4.1	—	—	—	—	—	—	2,789	1,514	0	536	0	536	[S43.3]	—	1	1	〃	
	田尻	田尻町4-39-2	S51.5.6	11	11	22	2	—	3(1)	5,360	2,901	704	22	20	746	[S51.5][S54.3]	—	2	1	〃	
	豊浦	川尻町1-6-6	S49.4.1	5	2	7	1	—	2(1)	5,883	1,161	0	490	13	503	[S49.3][S63.3][H3.10]	—	2	1	有	
	柳形	十王町伊師本郷506	S49.4.1	13	13	26	2	—	5(1)	4,956	937	0	533	12	545	[S58.2][S61.11]	—	2	1	無	
		計		58	54	112	12	—	29(12)	33,589	15,164	2,522	3,460	105	6,087		—	19	10	—	
小学校	みやた	本宮町2-10-22	H26.4.1	10	16	26	2	—	5	2,395	950	584	193	0	777	[H1.3][H26.3]	—	2	1	無	
	はなやま	金沢町2-10-23	R2.4.1	11	4	15	2	—	5	4,270	730	290	0	791	1,081	[R1.9]	—	2	1	有	
		計		21	20	41	4	—	10	6,665	1,680	874	193	791	1,858		—	4	2	—	
	助川	助川町2-15-1	M6.7.27	163	193	356	12	6	29	0	31,511	15,865	6,060	10	40	6,110	[S52.1][S53.8][S54.9]	921	18	16	有
	会瀬	会瀬町2-17-10	S14.4.3	132	151	283	10	4	19	0	20,910	9,480	4,640	0	40	4,680	[H24.3]	757	14	13	〃
中学校	小宮田	本宮町2-9-1	M6.6.27	172	180	352	12	5	25	0	19,964	9,497	5,332	0	40	5,372	[S45.3][S52.10][S54.1]	848	17	15	〃
	滑川	滑川本町1-20-7	S48.4.1	197	139	336	12	5	23	0	22,335	9,171	5,495	215	0	5,710	[S48.3][S50.2][H13.12]	780	17	16	〃
	仲町	宮田町5-5-1	T7.6.11	64	50	114	6	3	14	0	12,643	6,325	3,700	6	20	3,726	[S53.8][S55.8]	809	9	10	〃
	中小路	平和町2-4-1	S15.7.10	55	61	116	6	2	13	0	19,724	9,484	3,529	11	80	3,620	[S52.1][S53.8]	739	8	8	〃
	大久保	末広町1-1-1	M6.8.15	253	228	481	17	4	32	1	23,875	9,666	6,814	25	0	6,839	[S50.9][S51.9]	895	21	18	〃
校	河原子	河原子町4-3-4	M22.7.8	101	96	197	7	3	17	0	15,470	8,372	4,384	8	40	4,432	[S44.3][S51.12][S56.3]	798	10	11	〃
	成沢	中成沢町3-16-8	M6.7.1	108	122	230	7	3	18	0	17,090	8,964	5,968	0	39	6,007	[S46.3][S46.12]	760	10	18	〃
	諏訪	諏訪町3-10-1	S44.4.1	147	130	277	11	2	18	1	30,832	11,227	5,199	26	20	5,245	[S57.3][H28.11]	711	13	10	〃
	水木	水木町1-6-1	M22.6.28	193	183	376	13	6	28	0	17,872	6,996	5,681	0	20	5,701	[S49.3][S55.2][H26.3]	775	19	15	〃
	大みか	大みか町3-19-15	S49.4.1	120	111	231	9	4	19	0	16,850	9,219	4,192	0	60	4,252	[S49.3][S60.3]	789	13	7	〃

※ 幼稚園の教職員数には非常勤園長3名を含む。また、()内は非常勤講師数(外数)を表す。

※ 会瀬、高鈴、水木幼稚園は、令和2年4月1日から休園中。

※ 認定こども園の園児は、教育認定子どもの人数。

種別	区分 校名	所在地	開設年月日	児童生徒数		教職員数	市職員数	校地面積 (㎡)		建築物面積 (㎡)				保有教室数		アール			
				男	女			計	普通	特別支援	敷地面積	左のうち運動場面積	鉄筋	鉄骨	木造		校舎	建設年月	屋内運動場
小学校	大沼	東大沼町2-1-8	S24.4.6	261	254	515	32	1	36,396	21,418	7,236	11	40	7,287	[S49.3][S50.7][S54.3]	867	22	19	有
	金沢	金沢町5-2-1	S46.4.1	131	115	246	9	4	24,172	6,788	5,204	0	72	5,276	[S46.3][S48.11]	752	13	18	〃
	埴山	金沢町2-14-1	S54.4.1	149	131	280	11	5	20,379	10,368	5,288	0	80	5,368	[S53.12]	790	16	17	〃
	油繩子	鮎川町3-11-1	S30.4.1	98	94	192	7	4	24,110	11,390	4,568	36	40	4,644	[S55.10][H27.3]	751	11	10	〃
	田尻	田尻町4-39-1	S52.4.1	233	212	445	14	7	33,349	13,710	7,128	0	40	7,168	[S51.10][S51.11][S52.11][S59.2]	790	21	18	〃
	日高	日高町2-12-1	M6.8.2	247	236	483	15	5	19,570	8,046	5,667	317	20	6,004	[S45.3][S47.3]	791	20	12	〃
	豊浦	折笠町741	M6.8.1	246	242	488	16	3	40,542	12,619	6,924	0	20	6,944	[S56.3][R1.12]	754	19	9	〃
	久慈	久慈町1-23-1	M6.7.9	136	135	271	10	3	16,556	7,426	5,271	0	20	5,291	[S38.3][H31.2]	819	13	13	無
	坂本	南高野町3-21-1	M22.7.14	192	168	360	12	4	21,411	7,384	6,194	0	0	6,194	[S47.2][S49.5][H20.2]	757	16	17	有
	小沢	下土木内町617	M7.7.15	9	12	21	3	0	13,464	8,027	0	1,934	40	1,974	[S50.6][S58.3]	748	3	10	〃
中学校	中里	東河内町1,909	M33.7.10	10	16	26	3	0	8,182	2,640	1,985	0	40	2,025	[S54.10]	718	3	10	〃
	柳形	十王町伊師本郷508	M6.6.29	442	380	822	26	5	21,042	9,675	5,803	36	0	5,839	[S50.3][S51.7][S56.3]	739	31	13	〃
	山部	十王町山部841	M7.3.31	13	14	27	3	2	9,017	4,850	923	78	405	1,406	[S32.1][S55.3]	590	5	5	無
		計		3,872	3,653	7,525	268	94	537,266	238,607	123,185	2,713	1,216	127,114		19,448	362	328	—
	助川	鹿島町3-5-1	S22.5.3	162	150	312	10	2	25,493	11,000	4,797	349	48	5,194	[S52.1][S53.8][H11.12][H25.7]	1,320	12	11	有
	平沢	高鈴町1-15-1	S23.9.10	39	36	75	4	1	26,191	11,815	2,406	230	15	2,651	[S47.7][S48.2][H1.5]	1,458	5	10	無
	駒王	神峰町3-2-32	S24.4.5	146	151	297	10	3	15,141	8,394	6,423	5	0	6,428	[H15.2]	1,246	13	24	有
	滑川	東滑川町3-17-1	S55.4.1	166	165	331	10	4	32,836	15,921	5,349	0	40	5,389	[S55.2]	1,176	14	18	〃
	多賀	鮎川町3-11-2	S22.5.3	178	157	335	10	5	31,096	19,265	7,594	16	100	7,710	[S49.3][S54.3][S60.3]	1,418	15	28	〃
	大久保	末広町5-12-94	S35.4.1	259	238	497	15	4	21,880	10,793	7,062	0	0	7,062	[S59.3][H23.3]	1,326	19	16	無
高等学校	河原子	東多賀町4-10-10	S43.4.1	74	85	159	6	2	24,658	9,952	2,037	0	20	2,057	[S58.6]	1,526	8	7	〃
	泉丘	水木町2-9-1	S26.4.1	260	255	515	15	4	35,807	15,399	6,029	523	60	6,612	[S49.5][H5.3][H12.10]	1,317	19	19	有
	台原	台原町1-9-1	S55.4.1	103	80	183	6	4	29,221	13,217	6,701	0	40	6,741	[S55.2]	1,176	10	22	〃
	日高	小木津町3-26-1	S22.5.3	184	161	345	11	3	24,961	12,354	6,631	0	0	6,631	[H23.12]	1,425	14	14	〃
	豊浦	川尻町3-11-1	S22.5.3	137	99	236	7	2	48,060	30,943	3,800	8	40	3,848	[S54.2][S60.3]	1,332	9	14	〃
	久慈	久慈町6-20-2	S22.5.3	139	121	260	8	2	23,586	10,542	4,991	9	80	5,080	[S52.12][S53.12][S57.3]	1,537	10	17	無
	坂本	石名坂町1-30-1	S22.5.3	50	60	110	3	2	22,482	8,600	2,118	29	20	2,167	[S57.3]	754	5	10	有
	中里	東河内町1,953	S22.5.3	12	7	19	3	0	15,204	8,771	0	1,488	112	1,600	[S41.3][S42.3]	713	3	8	〃
	十王	十王町友部600	S35.4.1	242	215	457	15	3	31,887	13,611	4,682	349	20	5,051	[S46.2][S57.3][S60.2][H6.12]	925	18	13	無
		計		2,151	1,980	4,131	133	41	408,503	200,577	70,620	3,006	595	74,221		18,649	174	231	—
日立特別支援学校		鮎川町3-11-2	S43.4.1	92	55	147	18	21	88	0	3,728	69	55	3,852	[S50.6][S54.12][S60.3]	669	39	3	有

※ 日立特別支援学校は、高等部を含み、特別支援学級に訪問学級2を含む。

令和元年5月1日現在（単位：人・㎡）

(2) 私立幼稚園及び認定こども園

種別	園名	所在地	電話	設置者名	園長氏名	職員(人)		園児数(人)					園地面積(㎡)	園舎面積(㎡)	園舎構造	認可定員(人)		
						園長	教諭	その他	満3才	3才	4才	5才					計	学級数
幼稚園	三つ葉	石名坂町1-10-3	(52)2745	学校法人 根本学園	根本 杉子	1	6	2	0	20	22	30	72	5	3,562	764	鉄骨造	80
	石内	末広町4-6-1	(33)1363	学校法人 向が岡学園	浅野 好文	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15,436	1,867	鉄骨造	200
	日高	日高町2-10-10	(42)4536	学校法人 茅根学園	茅根 宣恵	0	10	2	0	49	52	70	171	6	7,033	2,205	鉄筋造 鉄骨造	300
	池の川	中成沢町2-8-29	(35)6872	学校法人 のひろ学園	副島由美子	0	9	2	0	21	34	30	85	4	4,233	994	鉄骨造 木造	175
	諏訪かおる	多賀町5-8-4	(33)3197	学校法人 小野学園	小野 芳樹	1	12	6	1	34	49	42	126	6	1,698	730	鉄骨造 木造	130
	ひばり	城南町2-7-22	(22)7302	学校法人 城南学園	額賀 力	1	4	2	0	11	17	12	40	3	3,240	571	木造	90
	すぎの子	東大沼町2-13-22	(36)1486	学校法人 佐藤学園	佐藤 かつ	1	4	0	1	12	5	7	25	4	2,374	507	木造	160
	めぐみが丘	森山町2-20-9	(52)3681	学校法人 加藤学園	加藤 巧	0	2	0	0	2	1	0	3	1	2,503	483	木造	105
	もみや	茂宮町188	(53)6578	学校法人 宮田学園	宮田 公友	1	15	2	0	41	59	60	160	6	3,349	1,993	鉄筋造 鉄骨造	280
計 9園																		
認定こども園	茨城キリスト教大学附属認定こども園みらい園	大みか町6-11-1	(53)9411	学校法人 茨城キリスト教学園	佐藤希久雄	1	14	2	0	35	34	31	100	6	5,354	1,501	鉄筋造	180
	茨城キリスト教大学附属認定こども園せいじ園	助川町1-16-1	(24)5111	学校法人 茨城キリスト教学園	佐藤希久雄	1	13	1	0	29	28	38	95	6	1,128	1,334	鉄骨造	160
	おおくぼ認定こども園大久保幼稚園	大久保町4-10-7	(33)2274	学校法人 公土園	岡部 和子	1	14	3	0	30	28	26	84	5	6,000	988	鉄筋・鉄骨・木造	160
	幼保連携型認定こども園おぎつ幼稚園	砂沢町364-9	(42)2029	学校法人 中崎学園	川崎ひろ子	0	13	5	0	25	27	22	74	6	7,148	1,878	鉄骨造	160
	認定こども園ほほえみ水木わかば幼稚園	水木町1-20-12	(52)5991	学校法人 たみ学園	榎本恵美子	1	4	0	0	5	3	2	10	3	1,184	405	木造	73
	いしまち認定こども園	十王伊師3447-1	(39)5250	社会福祉法人 愛考会	佐藤 典子	0	29	5	0	7	9	7	23	6	6,017	2,244	鉄筋・鉄骨・木造	190
	こどものいえ認定こども園	日高町1-14-11	(43)6494	社会福祉法人 秀心会	見城美智子	0	24	11	0	5	0	5	10	3	2,829	977	鉄骨造 木造	110
	多賀さくら認定こども園	東金沢町4-2-1	(59)3355	社会福祉法人 聖愛会	鈴木 順子	0	34	11	0	7	7	5	19	6	3,603	1,699	鉄筋・鉄骨・木造	240
	認定こども園十王幼稚園・保育園	十王町友部566-1	(39)2613	学校法人 山の尾学園	櫻村 雅子	1	20	3	2	49	55	48	154	9	8,626	1,973	鉄筋・鉄骨・木造	280
	認定こども園ひがしなるさわ幼稚園	東成沢町3-16-8	(36)7539	学校法人 しみず学園	永山 直美	1	10	1	0	14	20	23	57	3	1,623	857	鉄筋造	95
認定こども園ほほえみ学びの森わかば園	森山町1085-1	(33)8822	学校法人 たみ学園	榎本恵美子	1	11	5	0	11	11	14	36	3	7,605	977	木造	93	
すけ川幼稚園	諏訪町1-14-6	(33)1736	学校法人 助川学園	大江日出雄	0	7	7	0	13	17	18	48	3	1,332	531	木造	75	
計 12園																		
計 59																		

※ 園児数は、市外からの通園児童を含まない。認定こども園の園児は、教育認定子ども園の園児は、「教育・保育教諭」と読み替える。
 ※ 石内幼稚園は令和2年4月1日から休園中。

(3) 私立小学校、中学校、高等学校及び大学

(令和元年5月1日現在)

学 校 名	所 在 地	学 科	学級数	児童・生徒・学生数	
小 学 校	私立久慈川三育小学校	留町1097-2	—	3	19
中 学 校	私立茨城キリスト教学園	大みか町6-11-1	—	9	249
	県立日立第一	若葉町3-15-1	—	6	240
高 等 学 校	県立日立第一	若葉町3-15-1	普通科 サイエンス科	18	710
	県立日立第二	鹿島町3-2-1	普通科・英語科	15	516
	県立日立工業	城南町2-12-1	全日制・機械科 電気科 情報電子科 工業化学科	15	525
			定時制・総合学科	4	29
	県立多賀	鮎川町3-9-1	普通科	18	715
	県立日立商業	久慈町6-20-1	商業科・情報処理科	15	594
	県立日立北	川尻町6-11-1	普通科	18	718
	私立明秀学園日立	神峰町3-2-26	全日制・普通科	30	1,042
			通信制・普通科	6	604
	私立茨城キリスト教学園	大みか町6-11-1	普通科	25	802
私立翔洋学園	大みか町4-1-3	通信制・普通科	—	2,438	
私立科学技術学園日立	西成沢町2-17-1	通信制・機械科	9	222	
大 学	国立茨城大学	中成沢町4-12-1	(工学部) 機械工学科 生体分子機能工学科 マテリアル工学科 電気電子工学科 メディア通信工学科 情報工学科 都市システム工学科 知能システム工学科 (A)(B)	—	1,897
			(文学部) 文化交流学科 現代英語学科 児童教育学科	—	1,229
			(生活科学部) 心理福祉学科 食物健康科学科	—	624
			(経営学部)経営学科 (看護学部)看護学科	—	286 354

※国立茨城大学の学生数は、日立キャンパスに在籍している人数

3 教育指導

(1) 日立市の学校教育目標

ア 「たくましい体をつくる」

「たくましい体をつくる」とは、いわゆる心身両面の真の健康づくりを意味するものであり、すこやかな精神とじょうぶな体を育てることである。最近の生活環境の変化として、遊び場がない、仲間と体を思い切り動かして遊ぶということもないなど、子どもたちの「たくましき」の育つ土壌が少なくなってきたことがあげられる。

これらに対処するためにも、学校体育、学校保健・安全、食育・学校給食、社会体育の充実そして、余暇活用能力の育成が求められている。特に、学校の教育活動の全体を通じて「生涯を健康に過ごす」「生涯にわたってスポーツを続けていく」等の態度を培うように心がけることである。

そのためには、子どもたちの豊かな体験活動を大事にし、それを通して「たくましき」を身に付けていくことが大切である。

イ 「科学する力を養う」

「科学する力を養う」とは、身近な社会、数理、自然事象に即して考え、その姿を客観的、分析的、総合的に把握し、真理を見出し、未知のもの、新しいものを発見し、創造していく問題解決の能力と態度を育てることである。

社会の急激な変化、情報化、国際化などの時代が進展する中で、科学する力の育成が肝要である。学校教育は、そのためにそれぞれの教科の本質や単元・教材の目標や内容に応じて、体験的な学習や問題解決的な学習を重視した主体的な学習活動によって、基礎的・基本的な概念を具体的に把握できるようにすることが大切である。

また、これからは生涯学習の基盤を培うという観点に立ち、社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成を目指して、創造的な知性と技能を育てる教育を重視していかなければならない。

ウ 「思いやりの心を培う」

「思いやりの心を培う」とは、人間的な弱さや欠点を持っている人間同士が出会ったときに、相手の苦しみや悲しみの状況を相手の立場に立って（その人の苦しみ、悲しみ、そして、悩みを）共に感じ、少しでも心が和らぐように配慮する心情を育てることである。人間は苦しみや悩みを抱きながら精一杯生きているのが真実の姿であって、それへの共感と自覚なしには、本当の思いやりの心は発揮されないであろう。こうした心は言葉だけでなく、日常生活の種々の行為として現れてくるものである。思いやりの心を育てるには、教師がまず思いやりの心をもって子どもたちに接し、実践することである。さらに、教育活動全体を通じて子どもたちの豊かな情操を養うことが大切である。

(2) 目指す子どもの姿「ひたちっ子」

- ・㊶ 広い視野で世界にはばたく 考える子
- ・㊷ たくましく未来を切り拓く 元気な子
- ・㊸ 地域を愛し心豊かに生きる やさしい子

ア 広い視野で世界にはばたく 考える子

国際的な視野に立って物事を考え、行動する力をもてるようにするためには、日本人としての誇りを大切にしながら、コミュニケーション能力や表現力などを高めていくことが重要です。

基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことにより、社会に貢献する子どもの育成を目指します。

イ たくましく未来を切り拓く 元気な子

自らに誇りをもち、変革の時代にあってもたくましく未来を切り拓く力を身に付けるためには、すべての子がお互いの人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合いながら、その個性と能力を十分に発揮できる環境をつくることが重要です。

少子化や核家族化の進展等により、子どもたちが他者と関わる機会が減少する中で、社会全体で子どもを育てる気運を高めることにより、根気強く最後まであきらめずに物事に取り組む子どもの育成を目指します。

ウ 地域を愛し心豊かに生きる やさしい子

高度情報化社会が到来し、社会・経済がグローバル化する中で、郷土日立の伝統や文化を学び、自然に親しみ、地域を愛することは、子どもたちの豊かな人間性と社会性を育むために重要です。

他者を思いやる心、美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心、勤労観・職業観など、道徳教育や体験活動の充実を図りながら、豊かな心と創造力のあふれる子どもの育成を目指します。

(3) 学校教育施策の柱及び方向性

ア 確かな学力の定着と活用する力の育成

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 学びの連続性を大切にした教育活動の展開
- 家庭・地域と連携を図った様々な教育活動の充実
- 学力と感性を磨く読書活動の充実

イ 子ども一人一人に寄り添う教育の推進

- 自立と社会参加する力の育成
- 寄り添い支える指導力の向上
- いじめ・不登校対策の推進
- 教育相談体制の充実

ウ 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- 自己肯定感・自己有用感を高め、未来を切り拓いていく子どもの育成
- 感動する心を養う活動の充実
- 郷土を愛し、広く社会に貢献する子どもの育成
- 体力の向上と健康的な生活習慣の形成

エ 次代を担う力を磨き高める教育の推進

- 自ら学び、考え、社会を生き抜く力の育成
- 次世代を生き抜くための情報活用能力の育成
- 国際社会で活用でき、主体的に行動する態度や能力の育成
- 科学的思考力の基礎となる理数教育の充実

オ 学習環境の充実と地域とともにある魅力ある学校づくり

- 学習環境の整備・充実
- 地域とともにある学校づくり
- 自ら危険を回避し行動できる安全・防災教育
- 保護者の負担軽減

カ すべての子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくり

- 子どもの居場所の整備・充実
- 学ぶ意欲に応える支援
- 配慮が必要な家庭への支援

(4) 令和2年度研究指定園・校

学校教育における教科・領域及び学習指導上の諸問題について、研究指定校を委嘱し、学校の実態に立脚した実践研究を進め、その成果を本市学校教育の振興に役立てるとともに、特色ある学校づくりを推進する。

〔茨城県教育委員会〕

学 校 名	指 定 内 容	指 定期間
日 高 小 学 校	授業力ブラッシュアップ研修（重点校 国語）	令和元年度～令和3年度
塙 山 小 学 校	小中学校における遠隔教育実証研究事業 （プログラミング教育）	令和2年度～令和3年度
滑 川 小 学 校	小学校理科教科担任制モデル校（市モデル校）	令和2年度
坂 本 小 学 校	小学校英語教育支援事業（実践マネジメント校）	令和2年度
多 賀 中 学 校	少人数指導の充実に関する実証研修（国語）	令和2年度
駒 王 中 学 校	茨城県教育研修センター「教職に関する研究」 （研究協力校）	令和元年度～令和2年度

(5) 中卒者の進路状況

（学校基本調査による）

卒年度	卒業生数 （人）	進学者数 （人）	進 学 率 （％）	県進学率 （％）	就職者数 （人）	就 職 率 （％）
24	1,933	1,914	99.0	98.5	6	0.3
25	1,939	1,926	99.3	98.5	3	0.1
26	1,959	1,949	99.5	97.5	1	0.1
27	1,936	1,927	99.5	98.0	4	0.2
28	1,906	1,893	99.3	97.2	1	0.1
29	1,870	1,860	99.5	98.9	2	0.1
30	1,682	1,674	99.5	97.4	0	0.0

(6) 長欠児童生徒の推移（30日以上）

（単位：％）

年度	小 学 校			中 学 校		
	日立市	茨城県	全 国	日立市	茨城県	全 国
H25	0.95 (0.31)	0.87 (0.35)	0.84 (0.37)	3.84 (3.09)	3.70 (2.78)	3.69 (2.81)
26	0.96 (0.34)	0.89 (0.37)	0.88 (0.39)	3.97 (3.40)	3.80 (2.85)	3.76 (2.88)
27	1.02 (0.19)	1.00 (0.36)	0.97 (0.43)	4.15 (3.28)	3.96 (2.97)	3.94 (2.95)
28	1.12 (0.29)	1.04 (0.51)	1.04 (0.47)	3.71 (2.81)	4.06 (3.14)	4.21 (3.14)
29	1.09 (0.44)	1.05 (0.57)	0.87 (0.54)	3.92 (2.81)	4.01 (3.10)	3.96 (3.25)
30	0.92 (0.45)	1.23 (0.81)	1.30 (0.70)	3.74 (2.23)	4.38 (3.45)	4.76 (3.65)
R元	1.43 (0.79)			5.33 (4.18)		

※（ ）内は「不登校」のみの比率

(7) 令和元年度体力・運動能力調査平均値の比較

平均値は市、県とも令和元年度のもの

◎印は市の平均値が県の平均値を上まわっているもの

○印は市の平均が県の平均値と同じもの

(茨城県学校保健会の資料による)

	男 子																	
	小 1		小 2		小 3		小 4		小 5		小 6		中 1		中 2		中 3	
	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県
握力 (kg)	◎9.7	9.4	11.1	11.2	◎13.0	12.9	◎15.0	14.7	16.9	17.0	◎20.1	20.0	23.9	24.1	29.8	30.0	◎34.9	34.9
上体起こし (回)	◎13.7	13.2	◎16.5	15.8	◎18.7	18.3	◎21.2	20.3	◎21.9	21.8	◎24.6	23.5	◎25.3	25.3	◎29.8	28.1	◎32.0	30.3
長座体前屈 (cm)	◎28.6	27.2	◎29.7	29.7	31.0	31.8	◎34.8	33.6	◎38.4	36.6	◎42.0	38.9	◎43.4	42.5	◎49.9	46.9	◎53.5	50.2
反復横とび (回)	◎29.5	28.6	32.8	33.1	36.3	37.3	◎41.7	41.4	◎44.4	44.4	◎48.1	46.9	◎50.7	49.6	◎54.1	53.6	◎57.6	55.7
20mシャトルラン (回)	◎25.7	22.2	◎34.3	32.6	◎41.9	41.2	◎51.2	49.4	◎55.2	54.5	◎62.3	61.4	◎71.4	70.4	◎83.1	88.8	◎100.3	94.7
50m走 (秒)	◎11.3	11.5	◎10.5	10.6	◎10.0	10.1	◎9.6	9.6	◎9.2	9.3	◎8.8	8.9	◎8.5	8.5	◎7.7	7.8	◎7.3	7.4
立ち幅とび (cm)	118.7	116.9	128.4	128.5	136.4	138.6	◎149.2	146.7	◎155.6	155.4	165.8	165.9	180.9	182.1	◎202.2	199.5	◎217.1	213.6
ソフト・ハンドボール投げ (m)	◎8.6	8.5	11.2	11.5	13.8	15.1	◎18.7	18.7	21.4	21.8	25.0	25.3	◎17.7	17.6	22.2	21.3	◎24.2	23.8
合計点 (点)	◎34.3	32.6	◎40.3	40.0	45.7	46.3	◎53.0	51.8	◎57.4	56.7	◎63.5	62.0	◎36.3	35.8	◎47.7	45.2	◎54.4	51.5

	女 子																	
	小 1		小 2		小 3		小 4		小 5		小 6		中 1		中 2		中 3	
	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県	市	県
握力 (kg)	◎9.3	9.0	◎10.5	10.5	◎12.5	12.3	◎14.6	14.1	16.7	16.8	◎20.2	19.9	◎22.1	22.1	◎25.4	24.6	◎26.4	26.1
上体起こし (回)	◎13.7	12.8	◎15.8	15.5	◎18.3	17.6	◎20.7	19.9	◎21.9	21.4	◎23.0	22.5	◎23.6	22.8	◎26.4	25.0	◎27.2	26.0
長座体前屈 (cm)	◎30.9	29.6	◎32.5	32.5	◎35.2	34.8	◎38.7	37.5	◎43.6	41.2	◎47.5	44.2	◎47.5	46.2	◎52.5	49.9	◎54.6	52.3
反復横とび (回)	◎28.8	27.8	31.9	32.0	35.7	36.2	◎40.4	40.2	◎43.2	43.2	◎46.2	45.4	◎46.7	46.7	◎48.9	48.4	◎49.8	49.2
20mシャトルラン (回)	◎21.3	19.1	26.6	26.8	◎34.0	33.4	◎42.4	40.9	◎48.0	47.9	◎54.7	53.3	◎56.4	55.7	◎67.4	63.6	◎65.5	62.9
50m走 (秒)	◎11.5	11.7	◎10.8	10.9	◎10.2	10.3	◎9.8	9.9	◎9.3	9.4	◎8.9	9.0	◎8.9	8.9	◎8.4	8.6	◎8.3	8.5
立ち幅とび (cm)	◎111.9	111.4	119.5	122.2	129.9	132.1	◎143.3	141.3	151.0	151.5	160.3	160.7	166.1	168.3	◎177.8	174.7	◎180.3	177.2
ソフト・ハンドボール投げ (m)	◎6.2	6.2	7.8	8.1	10.0	10.2	12.4	12.7	14.7	14.9	16.6	17.1	11.9	12.0	◎14.1	13.7	◎15.1	14.7
合計点 (点)	◎35.4	33.6	◎41.3	41.3	◎48.1	47.8	◎55.3	54.1	◎60.7	60.1	◎66.5	65.1	◎48.3	47.9	◎56.9	54.1	◎59.0	56.6

4 教育研究所事業

(1) 基本方針

日立市の学校教育の充実・発展に寄与するため、教育課題についての先導的・実践的な調査研究、教職員の資質向上のための研修、教育相談、教育情報の収集・提供等を行う。

(2) 重点事項

- ア 学校教育に関する専門的・技術的な事項の調査研究の充実
- イ 教育専門職としての資質向上のための教職員研修の充実
- ウ 幼児・児童生徒支援のための教育相談の充実
- エ 教育情報の収集・提供の充実

(3) 事業内容

ア 調査研究に関する事業

今日的な教育課題に関する調査研究を実施し、学校の教育活動がより円滑に推進できるよう成果の普及に努める。

- (ア) 教育課題の解決のための専門的・技術的な調査研究
- (イ) 幼児・児童生徒の学習や生活に関する意識や実態についての調査研究
- (ウ) 幼児・児童生徒理解のための教育的資料の作成や教育情報の収集と提供
- (エ) 教育課題調査研究会議の設置
 - ・調査研究員に委嘱した教職員による今日的な教育課題についての実態調査
 - ・本市教育の充実・発展を図るための調査研究と成果の普及

イ 教育相談に関する事業

様々な悩みや不安をもつ幼児・児童生徒、保護者及び関係教職員に対する教育相談を実施するとともに、不登校解消を目指して児童生徒への支援活動を行う。

- (ア) 学校訪問相談
 - 面接相談…主に不登校や登校しぶりの児童生徒や保護者、教職員との面談
 - 家庭訪問…不登校や登校しぶりの児童生徒の家庭への訪問
 - 事例検討…生徒指導部員会や個別のケース会議への出席
- (イ) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」（多賀教室、日立教室）の運営
 - 不登校に陥っている児童生徒の生活と活動の場として「ちゃれんじくらぶ」を設置し、仲間とのふれあいを通して自立心や適応力を養い、社会生活への自立を目指した支援を行う。
- (ウ) 不登校対策支援
 - 体験活動の実施（栽培、制作、調理、野外活動、市内遠足等）
 - 保護者への支援（教育相談、家庭訪問、保護者の集い等）
 - 不登校に関する研修会の実施
- (エ) 教育相談員の研修
 - 相談活動に見られる事例研究や協議
 - 専門的な分野の研修

ウ 教職員の研修に関する事業

本市教育の充実・発展を目指して、教育実践上の課題解決のための研修と教育専門職としての資質・職能の向上を図る。

- (ア) 職層や経験に応じた研修
- (イ) 専門性を高める研修
- (ウ) 特別研修
- (エ) 共催研修（幼稚園教育研究会・市教育研究会専門部）
- (オ) その他の研修

エ 日立市こども発達相談センターの運営

発達障害に関わる悩み相談、心理検査、小集団によるスキル指導、医療相談、幼稚園・保育園等への巡回訪問、理解啓発のためのリーフレットの配布及び研修会等を実施する。

- (ア) 所内相談…研究所内の相談室で教育相談員が対応する面接相談・電話相談
- (イ) 巡回訪問…教育相談員が保育園・幼稚園・認定こども園に訪問し情報交換を実施
- (ウ) 医療相談…研究所内の相談室で小児科・心療内科等の医師が対応する相談
- (エ) 心理検査…研究所内で教育相談員によるWISC・田中ビネー等の心理検査を実施、小中学校で派遣した心理相談員による心理検査を実施
- (オ) 小集団活動…少人数によるソーシャルスキルの手法を取り入れた「なかよし教室」の実施
- (カ) 各種研修会…教職員・保育士・保護者・市民対象の発達障害に関する研修会、教職員対象の発達障害対応実技研修会の実施
- (キ) 小集団活動実践研修…幼稚園教諭及び保育士を対象に、なかよし教室における指導支援を通じたソーシャル・スキル・トレーニングを中心とする指導力向上を図る研修の実施
- (ク) 関係機関との連携…保健所の発達相談支援事業への参加（年6回）、日立市子どもセンターの総合相談への派遣（月2回）、健康づくり推進課の5歳児健康診査への協力

オ 広報に関する事業

- (ア) 広報紙「りさーち」の発行
- (イ) 研究紀要・研究報告書の発行
- (ウ) 教育相談案内のリーフレット作成、配布
- (エ) 特別支援サポート体制のリーフレット作成、配布
- (オ) ホームページによる情報提供

(4) 令和元年度各種事業の実施状況

ア 調査研究

令和元年度「研究紀要」及び「研究報告書 日立市の小学校プログラミング教育 ～Let's PROGRAMMING for Hitachi kids!～」の作成、発行

イ 教育相談

(ア) 学校訪問相談の概要

○相談人数と延べ相談件数 (実数：相談者の人数、延べ数：相談を受けた件数)

小学生		中学生		保護者		教職員		合計	
実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
344	1,164	152	750	126	352	83	234	705	2,500

○学年別相談人数 (人)

種 別	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
小学生	23	31	72	62	67	89	344
中学生	62	38	52				152

○主訴別相談人数

(相談内容について) (人)

種 別	小学生	中学生	合計
友人関係に関する相談	141	85	226
家庭生活に関する相談	30	18	48
身体・健康に関する相談	3	10	13
教職員との関係に関する相談	6	5	11
学業・進路に関する相談	6	2	8
無気力に関する相談	2	6	8
非行に関する相談	0	0	0
いじめに関する相談	7	2	9
その他	149	24	173
合計	344	152	496

(不登校との関係) (人)

種 別	小学生	中学生	合計
相談内容のうち、不登校に関連付けられる相談	46	68	114
相談内容のうち、不登校との関連が無い相談	298	84	382
合計	344	152	496

(イ) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」の概要

- 正式入級：中学生 18人（多賀教室9人、日立教室9人）
- 体験活動（常時活動の中での創作活動、行事や屋外での体験活動など）
- 学習支援
- 家庭や学校との連携（調理活動・在籍校教職員の参観、保護者会）（年3回）
- 不登校対策支援事業への参加

(ウ) 不登校対策支援事業の概要

- 体験活動（歴史・動物ふれあい体験（郷土博物館・かみね動物園）、神峰山ハイキング）
- 不登校に関する研修会（1回）

(エ) 教育相談員研修（2回）

ウ 教職員研修

(ア) 職層や経験に応じた研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	初任者研修会（2回）	70	初任者としての心構えと本市の学校教育への理解（含市内巡り）
2	学級経営研修会	42	望ましい学級づくりを目指すライフスキル教育
3	特別支援教育研修会（2回）	103	特別支援教育体制の構築と支援
4	幼児教育と小学校教育の接続のための研修会	64	幼児教育と小学校教育の接続
5	運動部活動指導法研修会	36	運動部活動の柔軟な運営の仕方や効果的・効率的な指導法

(イ) 専門性を高める研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	教師力パワーアップ講座①（道徳科）	53	考え、議論する道徳の授業モデルの検討
2	教師力パワーアップ講座②（プログラミング教育）	30	プログラミング的思考の意味と実技研修
3	教育研究論文研修会（2回）	35	教育研究論文の構想と書き方について
4	Q U 活用研修会（2回）	63	Q U の結果から見えてくる課題の把握と目指す学級像へのアプローチ

(ウ) 特別研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	教育講演会	55	今日的な教育課題に関すること テーマ「自分流から∞（無限大）の可能性を探る」
2	一般教養研修会	56	ネット・ゲーム依存の予防と対応

(エ) 共催研修（幼稚園教育研究会・市教育研究会専門部）

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	幼稚園・こども園学級経営研修会	57	幼児の主体的な活動を引き出す環境構成の工夫
2	幼稚園・こども園実技研修会	57	普通の保育に活用できるリズム遊びや集団遊び
3	特別支援教育夏季合同研修会	202	特別支援教育と授業のユニバーサルデザイン化
4	社会科実技研修会	36	授業に生かす郷土博物館の活用方法
5	体育実技研修会	55	ベースボール型ゲームの指導法
6	道徳科指導法研修会	52	「特別の教科 道徳」の授業改善と評価の在り方
7	発達障害の理解と支援研修会*	200	発達支援が必要な子どもの多様性の理解と支援について

※ 保護者・一般市民も受講対象

(オ) その他の研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	不登校に関する研修会*	53	不登校児童生徒の保護者を支援するための研修
2	発達障害の理解と支援研修会（3回）*	283	発達障害児の保護者支援及び教育・保育職の専門スキル向上のための研修

※ 保護者・一般市民も受講対象

エ こども発達相談センターの概要

(ア) 所内相談の概要

○月別相談件数（延べ件数）

(件)

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面接相談	39	24	39	56	53	48	55	50	47	41	57	53	562
電話相談	12	27	33	43	22	23	22	31	22	21	25	19	300
合計	51	51	72	99	75	71	77	81	69	62	82	72	862

※面接相談の延べ件数562件に対する実人数は193人

○面接相談者の年齢構成の内訳（合計193人）

(人)

種別	4歳児	5歳児	6歳児	小学1年	小学2年	小学3年
人数	2	33	34	19	26	15
種別	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
人数	16	15	17	7	5	4

○面接相談の内訳（合計562件）

種別	件数
発達障害に関する相談	424
知的障害に関する相談	26
その他	27
不登校・登校しぶり	120
重複	35

(イ) こども発達相談センター主催研修会

- 発達障害の理解と支援研修会（3回）

5 特別支援教育

(1) 特別支援学級設置状況及び児童生徒数（種類別、学校別、学年別）

ア 知的障害 「令和元年度教育支援委員会審議対象者の就学状況」（P27参照）

イ 言語障害、自閉症・情緒障害

（単位：人）

学 年		1	2	3	4	5	6	合計
小学校	助川小（言語）	—	2	1	—	1	—	4
	助川小（自閉・情緒）	4	2	5	2	4	1	18
	会瀬小（自閉・情緒）	—	1	4	3	1	1	10
	宮田小（自閉・情緒）	2	3	4	2	5	3	19
	滑川小（自閉・情緒）	—	3	3	4	5	4	19
	仲町小（自閉・情緒）	—	—	4	4	4	5	17
	中小路小（自閉・情緒）	—	—	1	3	1	1	6
	大久保小（自閉・情緒）	1	2	2	—	4	2	11
	河原子小（自閉・情緒）	1	1	1	1	1	4	9
	成沢小（自閉・情緒）	4	6	—	2	—	2	14
	諏訪小（自閉・情緒）	—	4	—	1	—	1	6
	水木小（自閉・情緒）	1	2	5	1	10	—	19
	大みか小（自閉・情緒）	—	2	5	5	4	1	17
	大沼小（自閉・情緒）	3	1	4	5	2	3	18
	金沢小（言語）	1	—	2	—	—	—	3
	金沢小（自閉・情緒）	1	6	4	—	2	—	13
	塙山小（自閉・情緒）	4	3	3	2	3	2	17
	油縄子小（言語）	—	1	3	—	—	1	5
	油縄子小（自閉・情緒）	1	—	4	2	2	4	13
	田尻小（自閉・情緒）	2	2	6	2	5	9	26
	日高小（言語）	2	2	2	—	—	—	6
	日高小（自閉・情緒）	2	2	2	3	2	3	14
	豊浦小（自閉・情緒）	—	3	5	—	4	3	15
	久慈小（言語）	—	—	—	1	—	—	1
	久慈小（自閉・情緒）	1	—	3	1	—	2	7
	坂本小（自閉・情緒）	2	2	3	1	—	2	10
櫛形小（自閉・情緒）	—	1	3	4	6	4	18	
山部小（自閉・情緒）	—	2	1	1	—	—	4	
中学校	助川中（自閉・情緒）	3	1	2	—	—	—	6
	平沢中（自閉・情緒）	1	—	1	—	—	—	2
	駒王中（自閉・情緒）	3	—	1	—	—	—	4
	滑川中（自閉・情緒）	5	3	1	—	—	—	9
	多賀中（自閉・情緒）	6	9	4	—	—	—	19
	大久保中（自閉・情緒）	6	5	2	—	—	—	13
	河原子中（自閉・情緒）	4	2	1	—	—	—	7
	泉丘中（自閉・情緒）	4	4	4	—	—	—	12
	台原中（自閉・情緒）	5	7	6	—	—	—	18
	日高中（自閉・情緒）	4	3	4	—	—	—	11
	豊浦中（自閉・情緒）	1	2	—	—	—	—	3
	久慈中（自閉・情緒）	—	—	3	—	—	—	3
	坂本中（自閉・情緒）	1	1	1	—	—	—	3
十王中（自閉・情緒）	5	4	4	—	—	—	13	

(2) 日立特別支援学校児童生徒数（学年別、症状別）

（単位：人）

部	学年	在籍数	療育手帳					視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	(車椅子利用)	病虚弱	自閉症	ダウン症	てんかん
			㊤	A	B	C	なし								
小学部	1	10	0	2	2	1	5	1	2	5	5	1	4	1	2
	2	5	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0
	3	10	0	2	2	2	4	0	1	2	1	1	2	1	2
	4	12	1	2	4	3	2	0	0	0	1	1	4	1	3
	5	10	1	1	2	6	0	0	0	1	0	1	7	0	0
	6	7	1	0	3	2	1	0	0	0	0	1	7	0	1
	小計	54	4	7	16	15	12	1	3	8	7	5	29	3	8
中学部	1	11	1	2	2	5	1	0	0	1	1	1	7	0	3
	2	12	2	2	5	3	0	0	0	1	1	2	8	1	1
	3	15	1	4	3	7	0	0	0	0	0	1	9	1	2
	小計	38	4	8	10	15	1	0	0	2	2	4	24	2	6
高等部	1	26	1	4	4	15	2	0	2	2	2	0	10	1	2
	2	12	1	4	2	5	0	0	0	1	0	0	1	0	4
	3	17	3	3	6	5	0	0	0	0	0	0	2	2	2
	小計	55	5	11	12	25	2	0	2	3	2	0	13	3	8
合計	147	13	26	38	55	15	1	5	13	11	9	66	8	22	

(3) 日立市教育支援委員会

ア 障害児の障害に応じた適正な就学指導の円滑な運営を図るため、教育委員会の諮問に応じ、次の事項について審査する。

(ア) 学齢期にある知的障害者、自閉症・情緒障害者、視覚障害者、聴覚障害者、言語障害者、肢体不自由者、病弱者及び重複障害者の判定

(イ) 学齢期にある就学猶予者及び小学校入学予定者のうち障害の疑いのある者の就学前の諸検査及びそれらの就学適否の判定

(ウ) 幼稚園入園予定者のうち障害の疑いのある者の就園前の諸検査及び適切指導

(エ) その他、適正な就学指導のため必要と認める事項

イ 令和元年度教育支援委員会審議対象者の就学状況（P27参照）

ウ 委員構成（P69参照）

令和元年度教育支援委員会審議対象者の就学状況

区分 校名	小 学 校 通常の学級 (要観察者を含む)		小 学 校 特別支援学級 (知的障害)		小 学 校 特別支援学級 (自閉症・情緒障害)		中 学 校 通常の学級 (要観察者を含む)		中 学 校 特別支援学級 (知的障害)		中 学 校 特別支援学級 (自閉症・情緒障害)		特 別 支 援 学 校 (言語障害) (小学校のみ)		日 立 特 別 支 援 学 校 (重複障害を含む)		水 戸 支 援 学 校		常 陸 太 田 市 特別支援学校		盲 聾 学 校		学 校 実 際		市 外 転 出 等 実 際		R 2 年 度 特 別 支 援 学 校 (知的障害) 見 童 生 徒 数		
	判定 数	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	判定	実 際	
助川小	5	3	1	2	1	2	1	1																			12		
会瀬小	4	2		2		2																						10	
宮田小	8	2		5		5								1														9	
滑川小	5	2		2		2																						12	
仲町小	3	1		2		2																						-	
中小路小	2		2	2		2																						8	
大久保小	8	2	2	3	3	2	2																					12	
河原子小	2		1	1		1																						3	
成沢小	9	2	6	2		5	3																					4	
諏訪小	6	4	5	1		1	1							1														5	
水木小	8	2	4	2	2	2	2							2														12	
大みか小	10	2	4	4	2	4	4																					4	
大沼小	2		1	1		1																						11	
金沢小	9		1	1	1	7	7							1														7	
塙山小	9	1	2	3	6	3																						11	
油縄子小	6	2	2	4	4	4																						4	
田尻小	3		2	2	2	1	1																					16	
日高小	9	5	4	2	3	2	2																					11	
豊浦小	4		1	1	3	3																						7	
久慈小	6	1	2	2	2	2	1																					4	
坂本小	2		1	2		2																						9	
東小沢小																												-	
中里小																												-	
榔形小	15	4	5	4	4	6	5																					15	
山部小	1		1	1																								3	
助川中	7								1	1	1	5	4															5	
平沢中	2							1	2		1	1																-	
駒王中	15							1	5	5	9	5																10	
滑川中	23							8	9	8	7	5																9	
多賀中	16							3	3	3	4	9	9															6	
大久保中	15							2	5	4	9	8																10	
河原子中	7							1	1	2	5	4																8	
泉丘中	21							7	9	6	7	8	4															11	
台原中	18							2	8	3	1	13	6															3	
日高中	9							2	3	2	2	5	4															7	
豊浦中	8							3	4	3	3	1	1															5	
久慈中	5							1	1	3	4																	5	
坂本中	4							1	1	2	2	2	2															4	
中里中	1							1	1	1	1	1																-	
十王中	8							1	1	1	7	6																6	
日立特別支援																													-
合 計	295	35	49	30	28	61	52	28	50	42	44	82	58	5	1	12	3											278	

※ 校名の太字は特別支援学級（知的障害）設置校

6 幼稚園

(1) 園児数及び就園率

区分	年度	平成28		29		30		令和元		2	
	年齢別	4歳児	5歳児								
	幼児数(人)	1,282	1,285	1,214	1,285	1,196	1,214	1,167	1,189	1,097	1,161
公立	園数(園)	13 (1)		13 (1)		13 (1)		12 (1)		9 (2)	
	園児数(人)	212 (16.5)	211 (16.4)	153 (12.6)	215 (16.7)	114 (9.5)	162 (13.3)	96 (8.2)	118 (9.9)	59 (5.4)	94 (8.1)
私立	園数(園)	20 (10)		20 (10)		21 (12)		21 (12)		20 (12)	
	園児数(人)	579 (45.2)	615 (47.9)	557 (45.9)	567 (44.1)	527 (44.1)	552 (45.5)	516 (44.2)	514 (43.2)	461 (42.0)	480 (41.3)

- ※ 1 幼児数は、各年度4月1日現在の日立市内住民登録者数
 2 園数欄の（ ）内は、認定こども園の数（内数）。なお、園数には休園中の園は含まない。
 3 園児数は、市外からの通園児を含まない。
 4 園児数欄の（ ）内は、幼児数に対する就園児数の割合（単位：％）

(2) 預かり保育

平成22年10月から大沼幼稚園と田尻幼稚園、平成27年4月からみやた認定こども園、令和2年4月からはなやま認定こども園で試行している。（令和元年度の延べ利用人数 大沼幼稚園700人、田尻幼稚園324人、みやた認定こども園20人）

なお、私立幼稚園及び認定こども園では、全園で実施している。

(3) 私立幼稚園就園奨励費補助金

国の基準に従い、昭和47年度の制度開始から実施した補助金である。ただし、4歳児については、昭和54年度から、3歳児については、平成3年度から補助対象とした。平成12年度からは、第2子、第3子以降の単価を新設するとともに、満3歳児を補助対象に加えた。

なお、平成27年4月から子ども・子育て支援新制度が施行されたことに伴い、新制度に移行しない私立幼稚園に幼児が在籍する世帯のみを補助対象としたが、平成31年4月に市内私立幼稚園は全て新制度に移行した。

令和元年10月1日から幼児教育・保育の無償化が実施されたことに伴い、令和元年9月分までの補助にて終了となった。

7 保護者負担軽減対策

(1) ランドセル・スクールカバン予算措置

保護者の経済的負担軽減及び入学祝いとして、新入学児童に対して薄型で軽いファスナー式ランドセルを贈呈するため、昭和50年度から予算措置している。

また、新たに令和2年度新入学生徒に対して大容量で丈夫なスクールカバンを贈呈するため、令和元年度から予算措置している。

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区分	年度	平成23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2
ランドセル		11,723	11,122	11,107	11,072	11,096	10,657	10,834	11,687	11,301	11,753
スクールカバン		—	—	—	—	—	—	—	—	14,850	12,870

(2) 氏名ゴム印予算措置

私費負担となっていた新入学児童生徒用氏名ゴム印を、昭和53年度から予算措置している。

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区分	年度	平成23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2
氏名ゴム印		301	287	300	319	322	268	292	292	266	253

(3) 部活動関係予算措置

部活動は自主的参加であるので、原則として私費負担としながら、スポーツ・文化活動を通じて心身ともに健全な青少年を育成する見地から、より活発な活動及び積極的な参加を促進するため、関係費用の一部を予算措置している。

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区 分	年 度	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2
部活用ユニホーム、ボール類		3,630	3,630	3,630	3,630	3,630	3,630	3,703	3,698
吹奏楽部用楽器		3,775	3,775	3,775	3,775	3,775	3,775	3,775	3,775
各種大会参加補助		14,173	14,173	14,173	14,173	14,173	14,173	14,173	14,173

(4) 自転車通学生徒用ヘルメット購入費補助

遠距離通学等の理由により、自転車通学が認められた生徒のヘルメット購入費を援助することにより、登下校の交通安全対策と保護者の負担を軽減するため予算措置している。

(対象校) 豊浦中学校、久慈中学校、坂本中学校、中里中学校、十王中学校

予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区 分	年 度	平成27	28	29	30	令和元	2
ヘルメット購入費補助		87	87	87	87	87	87

8 学校施設整備状況

今日の学校施設は、児童・生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、地震等災害時における避難所としての役割、学校施設開放やコミュニティ活動等の地域住民の活動拠点としての役割など多様な機能が求められている。

本市の学校施設は、昭和50年前後に建設され、建築後40年が経過し老朽化が進んだ施設が全体の6割を占めている。これらの施設には耐震性に課題があることから、避難所となる屋内運動場については、平成22年度からの2年間で大規模改造と併せて耐震補強を実施し、校舎については、平成24年度からの3年間で大規模改造を先送りとして耐震補強のみを実施した。このことにより、現在の耐震化率は約95%となっている。残る未耐震の施設については、老朽化が著しいことから改築により耐震化を図っている。

また、耐震補強のみを実施した校舎の老朽化対策については、トイレの改修や普通教室等への情報通信ネットワーク環境整備など施設の環境改善を実施することにより当面の課題に対処しつつ、校舎の長寿命化や健全な学習・生活環境の改善を図るための大規模改造に取り組んでいる。

主要事業状況

（令和2年4月現在）

年 度	事 業 内 容
平成 26	油縄子小学校校舎大規模改造事業
	校舎耐震補強工事（滑川小、山部小、中里小、東小沢小、滑川中、豊浦中、十王中、日立特別支援）
	屋内運動場等天井等落下防止対策工事（小学校14校）
27	諏訪小学校校舎改築事業
	屋内運動場等天井等落下防止対策工事（日立特別支援学校、小学校9校、中学校14校）
	トイレ改修事業（田尻小、久慈中）
28	諏訪小学校校舎改築事業
	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（助川小、中小路小、大久保小、滑川中、台原中）
29	諏訪小学校校舎改築事業
	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	トイレ改修事業（宮田小、塙山小、滑川小、多賀中、泉丘中）
30	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	トイレ改修事業（仲町小、大みか小、中里小、櫛形小、豊浦中、十王中）
令和 元	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（河原小、金沢小、駒王中）
	普通教室等空調設備設置事業（小学校19校、中学校12校）
屋内運動場トイレ整備事業（滑川小、会瀬小、坂本小、成沢小、大久保小、河原小、多賀中）	
2	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（滑川小、成沢小、河原小）
	屋内運動場トイレ整備事業（小学校12校、中学校2校）
	情報通信ネットワーク環境整備事業（小学校22校、中学校14校）

9 教材教具整備状況

(1) 教材整備及び図書整備

教材整備については、授業の形態や指導方法も多様化していることから、引き続き教材教具の整備充実を計画的に進めていく。

特に学校図書については、子どもの読書活動推進法の成立や確かな学力育成事業の実施等により学校図書館の重要性が高まっていることから、教科書改訂を踏まえ、新たに授業で使う図書の整備を図る。

(2) 教育用コンピュータ等の整備

情報技術の急速な発達により、社会の様々な分野で情報化が進んでいる。また、令和2年度から順次実施される新学習指導要領では、小学校においてプログラミング教育を必修化するなど、情報活用能力を言語能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けている。

令和2年度は、文部科学省の「GIGAスクール構想」を踏まえて、児童生徒1人1台のコンピュータ及び高速な情報通信ネットワーク並びにプロジェクター等の整備・拡充を図り、わかりやすい授業づくりを支援するとともに「情報活用能力」及び「自ら学び、考え、行動する力」の育成を図る。

学校におけるコンピュータ等の整備状況

（令和2年4月1日現在）

	小学校25校	中学校15校	特別支援学校1校	計
台数(台)	1,800	1,256	77	3,133

※内訳 コンピュータ教室 各校8～80台（学校規模に応じて）
教職員用 1人1台

※全てのコンピュータから、インターネットを安全に利用することができる。



10 保健と安全

(1) 学校保健

学校における園児及び児童生徒並びに教職員の定期健康診断や結核検診については、市医師会・歯科医師会及び公益財団法人日立メディカルセンター、株式会社日立製作所日立総合病院等との連携により実施している。特に、小学1年生・中学1年生及び特別支援学校の全児童生徒については、定期健康診断とともに、心疾患の早期発見のため、心臓検診を公益財団法人日立メディカルセンターに委託し実施している。また、尿検査は、公益財団法人茨城県総合健診協会に依頼し実施している。

また、小・中学校における児童生徒の心の健康相談等に応ずるため、学校心療内科医を設置し、心の健康に問題を持つ児童生徒に対し、専門的立場から相談及び助言、指導を行っている。

教職員については、全員を対象に尿、貧血、肝機能、血中脂質、心電図検査、結核検診間接撮影等の一般健康診断を、40歳以上の者には胃部検診を実施している。

また、平成6年度からは、日立養護学校（平成24年4月1日から日立特別支援学校に改称）教職員、平成7年度からは、小・中学校養護教諭も対象に加えて、B型肝炎予防接種を実施している。

学校環境衛生については、市学校薬剤師会の協力の下に、飲料水水質検査、プール水質検査、教室照度検査、空気検査等の検査・測定を行うとともに、不快害虫の生息調査、駆除を行い、児童生徒がより良い環境で学習できるよう努めている。

また、児童生徒個々の身体測定の結果、スポーツテスト等の記録を電算処理し、各人毎の健康度（体格・体力・運動能力等）を判定し、これらを健康管理、健康指導教育の資料として活用する健康度判定事業委託を実施している。

学校医・歯科医・薬剤師

令和2年4月1日現在（単位：人）

	学 校 医	管 理 医	歯 科 医	特別支援学級医	心療内科医	薬 剤 師
幼 稚 園	7	7	7	0	0	7
小 学 校	43	25	39	1	2	25
中 学 校	25	15	21	1	2	15
特別支援学校	4	1	2	0	0	1
計	79	48	69	2	4	48

※管理医は学校医の内数

主な疾病異常の状況（児童・生徒疾病別被患率比較）

（単位：％）

年度	区 分		う 歯		視 力 (1.0未満)	口腔咽喉 頭疾患 ・異常	結膜炎 他の眼病 含む	心臓疾患	ぜんそく	四 肢・ せき柱・ 胸郭異常
			処 置 完了者	未 処 置 者						
平成 28	小学校	日立市	24.2	22.9	33.2	1.7	30.6	1.2	6.7	0.9
		全 国	24.7	24.2	31.5	1.4	5.4	0.7	3.7	1.8
	中学校	日立市	18.9	15.7	54.2	0.2	30.7	1.1	4.0	1.4
		全 国	21.0	16.5	54.6	0.7	5.1	0.8	2.9	3.4
29	小学校	日立市	23.9	23.4	33.4	1.1	26.8	1.6	6.6	1.1
		全 国	24.7	24.2	31.5	1.4	5.4	0.7	3.7	1.8
	中学校	日立市	16.5	18.5	54.5	0.4	30.6	1.7	5.1	1.4
		全 国	21.0	16.5	54.6	0.7	5.1	0.8	2.9	3.4
30	小学校	日立市	22.2	22.2	35.0	2.2	27.0	1.6	6.9	0.9
		全 国	23.1	22.2	34.1	1.3	5.7	0.8	3.5	1.1
	中学校	日立市	20.3	16.6	54.4	0.3	32.1	1.4	4.4	1.6
		全 国	20.4	15.0	56.0	0.8	4.9	1.0	2.7	2.4
令和 元	小学校	日立市	22.4	21.8	36.7	2.0	30.9	1.8	7.0	0.4
		全 国	23.1	21.7	34.6	1.3	5.6	0.9	3.4	1.1
	中学校	日立市	20.7	15.9	59.3	0.3	41.2	1.5	6.8	0.5
		全 国	19.8	14.2	57.5	0.7	5.4	1.0	2.6	2.1

(2) 学校安全

災害発生の状況は、小学校では休憩時間での切り傷、打撲が多く、また中学校においては、部活動での骨折、打撲が多くみられる。小・中学校共通して、体育時のけがも多くみられる。

このような状況を踏まえ、今後の対策としては、各学校へ各種資料等を提供し、学校安全推進のための啓もうを図るとともに、児童生徒の日頃の心身状態を把握し、登下校を含め教育活動全体を通して安全についての指導徹底を図っていきたい。

災害発生件数

（単位：件）

年 度	小 学 校	中 学 校	計
平成27年度	522	649	1,171
平成28年度	504	521	1,025
平成29年度	470	451	921
平成30年度	432	637	1,069
令和元年度	419	450	869

月別災害発生件数

(単位：件)

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	年度												
小学校	26	42	45	49	35	57	39	38	46	33	27	47	27
	27	56	32	30	43	31	23	38	52	70	43	54	50
	28	40	20	41	43	32	16	24	58	58	57	65	50
	29	24	57	46	26	1	65	55	47	42	41	35	31
	30	26	40	51	19	0	41	66	57	36	25	37	34
	令和元	23	39	33	28	1	45	50	60	44	28	40	28
中学校	26	39	31	53	58	67	46	69	81	55	34	62	41
	27	68	64	68	47	28	81	78	42	39	46	52	42
	28	50	33	67	45	63	46	68	73	52	44	52	56
	29	40	29	44	48	67	13	62	58	51	34	32	43
	30	37	63	48	34	18	62	41	19	27	30	43	29
	令和元	28	51	52	31	21	56	44	38	32	41	36	20

傷害別災害発生件数

(単位：件)

	傷害	骨折	ねんざ	切・挫創	打撲	眼・角膜	歯冠	その他
	年度							
小学校	26	89	52	33	215	108	6	90
	27	100	63	30	216	79	12	101
	28	107	75	30	184	72	26	112
	29	88	84	26	192	69	26	75
	30	94	54	22	196	55	21	66
	令和元	90	61	21	175	36	20	72
中学校	26	156	138	17	230	53	6	108
	27	147	127	20	215	62	7	133
	28	145	103	11	183	50	3	76
	29	129	94	10	139	34	8	76
	30	128	117	15	169	42	6	208
	令和元	122	96	9	142	57	4	81

11 学校給食

(1) 学校給食共同調理場の概要

ア 名称及び所在地

日立市北部学校給食共同調理場	日立市砂沢町758番地27
日立市南高野学校給食共同調理場	日立市南高野町1丁目23番11号

イ 敷地及び建物面積、その他

区 分	敷地面積	建物面積	開設年月日
北 部	15,791㎡	3,067㎡	平成31年4月1日
南 高 野	7,083㎡	3,638㎡	平成19年8月1日

ウ 主要設備、備品

(単位：台)

品 名	数 量		品 名	数 量	
	北 部	南高野		北 部	南高野
蒸 気 回 転 釜	20	20	食 器 洗 淨 機	3	2
蒸 気 自 動 回 転 釜	0	4	食 缶 洗 淨 機	1	1
ガ ス 回 転 釜	1	0	エ ア ー シ ャ フ ー	4	4
調 理 台	47	23	生 鮮 食 品 用 冷 蔵 庫	8	5
上 流 し	34	25	大 型 冷 凍 庫	2	2
作 業 台	31	27	保 存 食 用 冷 凍 庫	1	2
自 動 浸 漬 槽	0	1	揚 物 機	1	1
超 音 波 洗 淨 機	1	3	球 根 皮 剥 機	3	3
パ ン ラ ッ ク	30	30	サ イ ノ 目 切 機	2	2
コ ン テ ナ	52	61	自 動 連 続 切 裁 機	3	2
食 器 消 毒 保 管 庫	10	2	フ ー ド ミ キ サ ー	3	3
厨 芥 処 理 機	1	1	ボ イ ラ ー	2	3
コ ン テ ナ 洗 淨 機	1	1	殺 菌 庫	26	17
蒸 気 む し 庫	0	2	コ ン ベ ク シ ョ ン オ ー プ ン	6	1

エ 給食対象人員

(令和2年5月1日現在) (単位：人)

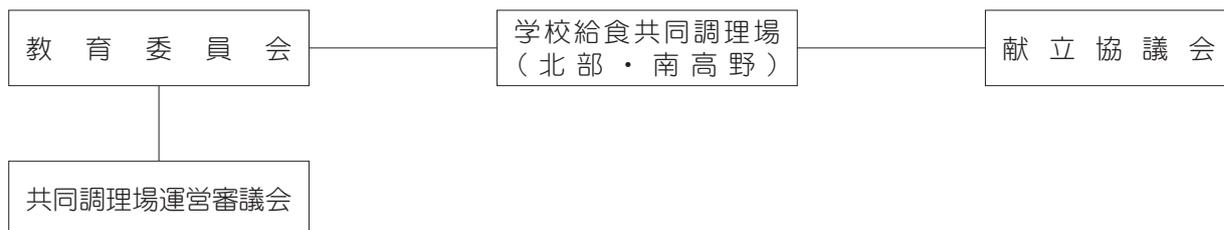
校別 区分	小 学 校			中 学 校			調理場 関係数	計
	学 校 数	児 童 数	教 職 員 数	学 校 数	生 徒 数	教 職 員 数		
北 部	12	3,848	371	9	2,312	240	52	6,823
南 高 野	14	3,731	428	8	2,152	257	42	6,610
計	26	7,579	799	17	4,464	497	94	13,433

※県立日立第一高等学校附属中学校分(生徒240人、教職員等19人)は北部調理場に含む。

※特別支援学校小学部(児童54人、教職員等51人)は南高野調理場の小学校分、特別支援学校中・高等部(生徒93人、教職員等47人)は南高野調理場の中学校分に含む。

(2) 運営管理

(機構)



ア 共同調理場運営審議会

共同調理場の運営管理については、職員及び施設、設備、栄養、衛生、給食物資及び給食費等、極めて多面的であり、かつ複雑であることから、学校長、保護者代表、市議、学校医及び学校薬剤師等により組織する運営審議会を諮問機関として設け、共同調理場の運営に関する事項について諮問する。

(ア) 主な諮問事項

学校給食の計画に関する事項、学校給食費に関する事項、その他学校給食の運営上重要な事項

(イ) 運営審議会委員（P70参照）

イ 献立協議会

関係学校の給食主任と調理場職員により、献立案の検討、献立の反省、見本の試食及び検食等を行い、学校との綿密な連携のもとに運営する。

12 通学用スクールバス

行政改革を推進するため、恒常的な運行形態である「中里スクールバス及び日立特別支援学校スクールバスの運行管理業務」を平成11年4月から民間に委託し、経費削減及び事業の効率化を図っている。

(1) 中里小・中学校スクールバス

教育の機会均等の趣旨に基づき、学校統合に伴い遠距離通学となる児童生徒に対して、昭和42年9月から通学送迎用としてスクールバスを運行している。

さらに、昭和56年9月から、児童生徒の登下校に支障のない範囲で、次の場合に運行している。

- 小・中学校児童生徒の競技会等選手を派遣する場合の送迎
- その他教育長が認めた場合

なお、平成25年4月1日から小規模特認校制度による遠距離通学者の利用を可能としている。

ア 利用者数（中里小・中学校学区内児童生徒及び小規模特認校制度による児童生徒）

区分	年度	年度別利用者数								
		平成24	25	26	27	28	29	30	令和元	2
小 学 校		1	10	10	11	12	14	11	13	15
中 学 校		0	11	15	17	12	14	12	14	10

イ 利用形態

中里小・中学校の児童生徒の通学送迎用として、スクールバス1台が日立駅⇄中里中学校間を運行している。なお、運行にあたり、運転員1人、添乗員1人が配置されている。

(2) 日立特別支援学校スクールバス

昭和43年の開校以来、小学部3年生までは保護者付添いによる通学、小学部4年生以上から自力通学を原則として地域社会との接触を図ることを教育方針としてきたが、近年、自力通学困難な重度障害児童生徒が増加傾向にあり、保護者の付添通学が増加したので、保護者負担の軽減を図るために昭和60年12月から通学送迎用として運行している。平成26年度に更新した市所有の3台に加え、平成29年度から事業者所有のバスを1台増便し、現在、4台のスクールバスを運行している。

ア 利用者数（日立市内から通学する児童生徒のうち、保護者付添通学を必要とする者）

コース	年度	年度別利用者数								
		平成24	25	26	27	28	29	30	令和元	2
北部方面コース		28	31	29	27	30	26	25	22	23
南部方面コース		28	31	30	28	31	28	26	20	18
中央コース(北部)	21	22	27	29	30	25	29	29	30	
中央コース(南部)						20	23	13	14	
計		77	84	86	84	91	99	103	84	85

イ 利用形態

日立特別支援学校児童生徒の通学送迎用として、スクールバス4台が市内の各方面を運行している。なお、運行にあたり、運転員4人、介助員8人（バス1台に2人乗車）が配置されている。

13 奨学金制度

日立市奨学金は、教育の機会均等を図り、有能な人材を育成するため、能力があるにもかかわらず経済的な理由によって修学が困難な高校生に対し学資を貸し付けることを目的に、昭和40年に設置された。その後、対象を大学生等にも広げ、市独自に入学準備金制度を設けたほか、貸付額の引上げを行ってきた。さらに平成29年度から返還を開始する大学奨学生が市内に居住した場合、返還額の50%を補助金として交付しており、令和元年度からは、補助対象者が、医療・介護・福祉関係の市内事業所に就職した場合、残りの50%も補助金として交付する（全額補助）など、より利用しやすい奨学金として制度を拡充し、今日に至っている。

奨学金は、昭和54年度から基金制度による運用となり、令和元年度末の基金額は5億7,366万4千円（目標額5億7,500万円）となっている。

(1) 貸付人員

高等学校奨学生（高等専門学校及び専修学校の高等課程を含む） 20人以内
 大学奨学生（短期大学及び専修学校の専門課程を含む） 120人以内

(2) 貸付額

(単位：円)

区 分		修学資金(月額)	入学準備金(一時金)			
高等学校・ 高等専門学校	国立及び公立	自宅通学のとき	100,000円以内で教育委員会が必要と認める額			
		自宅外通学のとき				
	私立	自宅通学のとき				
		自宅外通学のとき				
大 学	国立及び公立 (短期大学を含む)	自宅通学のとき	250,000円以内で教育委員会が必要と認める額			
		自宅外通学のとき				
	私立	短 期 大 学		自宅通学のとき		
				自宅外通学のとき		
		高等課程		国立及び公立	自宅通学のとき	100,000円以内で教育委員会が必要と認める額
					自宅外通学のとき	
私 立	私 立	自宅通学のとき				
		自宅外通学のとき				
専 修 学 校	専 門 課 程	国立及び公立	自宅通学のとき	200,000円以内で教育委員会が必要と認める額		
			自宅外通学のとき			
	私 立	私 立	自宅通学のとき			
			自宅外通学のとき			

(3) 年度別貸付状況

(単位：人・千円)

年度	高等学校		大 学		計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
26	1	186	61	37,050	62	37,236
27	1	156	54	32,714	55	32,870
28	2	342	60	36,530	62	36,872
29	3	498	62	36,392	65	36,890
30	3	468	66	39,074	69	39,542
令和元	1	156	68	40,776	69	40,932
累 計	790	229,931	727	1,505,882	1,517	1,735,813

※ 累計は、昭和40年(制度開始年)からの貸付者実人数及び貸付金額 (令和2年3月31日現在)

(4) 奨学金貸付基金運用状況

(単位：千円)

貸付金総額 (A)	償還金総額 (B)	未償還金総額 (C = A - B)	現金総額 (D)	基金額 (C + D)
1,735,813	1,438,981	296,832	276,832	573,664

(令和2年3月31日現在)